

事 業 評 価 書

補助事業名	高規格救急自動車購入						
補助事業者名	宜野湾市長						
実施場所	宜野湾市字野嵩地内						
補助事業の成果の目標	<p>本市消防本部の高規格救急自動車は、市内で発生する救急事案等で使用しているが、配備後15年が経過しており、近年ではエンジンや足回り更にはセンサーの主要部分の故障等が頻発し、緊急走行中に支障を来す恐れがある。このため、老朽化した高規格救急自動車の更新を行うことで、救急事案等が発生した場合、速やかに現場に出動し高度な救急救命処置が行われる環境を維持する。</p> <p>(参考指標)</p> <p>・年間の訓練回数:36回</p>						
補助事業の内容	高規格救急自動車 1台						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	円 32,508,000	円	円	円	円	円 32,508,000
	交付金額	30,000,000					30,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 高規格救急自動車の更新を行った結果、高度な救急救命処置が行われる環境を維持することができた。整備後1年経過した現段階において、故障等の不具合はなく、災害・訓練共に実績をあげている。 ①不具合回数 : 0回 ②訓練回数 : 35回 ③緊急出動回数 : 140回</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本車両の整備が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下に記載し、本事業に係る地域住民への周知を図った。 ①本車両 ②市ホームページ ③市広報誌</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	日常的に整備点検を実施し、今後とも整備計画に基づき老朽化した車両等を順次更新することで、救急活動を行える環境を維持する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	宜野湾市立普天間幼稚園ほか8園運営事業					
補助事業者名	宜野湾市長					
実施場所	宜野湾市普天間・新城・大山・大謝名・真栄原・志真志・宜野湾・長田地内					
補助事業の成果の目標	<p>本市幼稚園は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものとして、幼児を保育し、健やかな成長のため適切な環境を与え、心身の発達を助長するため保育活動を実施している。</p> <p>預かり保育・2年保育事業は一部の園で行っていたが、各園の保護者より要望があったことから、平成25年度より全ての園で預かり・2年保育事業を行うなど改善を行ってきた。また、平成26年度は、新設校が開校したことにより、市内幼稚園の定員数も増え待機児童の改善を行ってきた。平成27年度からは預かり保育の定員も撤廃し、4歳児の短期預かりも実施する等の今後も安定的な保育運営を行うことで保育環境の維持を図る。</p> <p>(参考指標)</p> <p>①保育活動日数(8月～3月):150日 ②幼稚園利用人数(8月～3月):771人</p>					
補助事業の内容	幼稚園教諭 22名					
補助事業の始期及び終期	平成27年度					
事業費及び交付金額		27年度				計
	事業費	66,874,722 円	円	円	円	66,874,722 円
	交付金額	62,460,000				62,460,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより幼稚園教諭それぞれが、幼児の健やかな成長のため事業を行うことができ、安定的な保育環境を維持することができた。また、保育活動日数及び幼稚園利用人数は下記のとおりとなっており、安定的な保育運営を行えたと評価する。</p> <p>①事業実施期間中の保育活動日数:155日 ②事業実施期間中の幼稚園利用人数:826人</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を市ホームページ掲載、また、各園の掲示版広告や園だより・クラス便りへ記載し、保護者への周知を図った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も継続しての事業を実施。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	宜野湾市伊利原老人福祉センター備品購入						
補助事業者名	宜野湾市長						
実施場所	宜野湾市伊佐地内						
補助事業の成果の目標	<p>本市には、現在赤道老人福祉センターが1か所設置されているが、地域性の偏りを解消するため西海岸地区に伊利原老人福祉センターを平成28年度から開所する計画である。</p> <p>今回、伊利原老人福祉センターのリハビリ・運動器具等の備品を整備し、高齢者の健康づくり、生きがいづくりの場として利用できる環境を整備する。</p>						
補助事業の内容	リハビリ・運動機器等 一式 ソファ、テーブル等 一式						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	円 13,800,240	円	円	円	円	円 13,800,240
	交付金額	11,146,000					11,146,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業により備品を整備したことで、講座やサークル活動に必要な備品やリハビリ・運動器具関係備品を充実させることができ、高齢者の生きがいづくり・健康づくりの場としての環境を整備することができた。</p> <p>また、利用者アンケートを実施したところ感謝の言葉等の意見が多く寄せられており同センターに通うことを楽しみにしている利用者が多く、生きがいづくりの場となっていると評価できる。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本施設の備品の整備が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されている旨を以下に記載し利用者や地域住民への周知した。</p> <p>①本事業で購入した備品 ②市ホームページ</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	日常的な清掃及び定期点検を実施し、利用者が安心・安全に備品等を利用することができるよう維持する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						